

狭山市民芸術祭 展示部門を見て

市民芸術祭の始めの4日間は展示部門のみで開催されます。期間中に3回目の雪との予報が外れ、ホッとしましたが、駐車場にはまだ雪が凍り付いてる中での開催となりました。平日は少ない人出でしたが、土日には多くの来場者があり各展示会場も賑わいました。

★奥の展示室には美術家協会の絵画の大作が並び、いつもながら圧巻でした。中央のテーブルには素敵なガラス工芸や陶芸、木彫など力作が展示されていました。



市民美術協会

★市民美術協会の部屋には多様な作品がところ狭しと並べられていました。それぞれの作品に解説が付き、見学者も知人の作品を探したりと、楽しんでおられました。



美術家協会

★狂言入間川を観る会は、翌月に20周年の鑑賞会を控え、舞台写真と過去のプログラムを並べ歴史をアピールしていました。

★土日の全館オープンでは、お迎え花がテーマの「愛」を表現していました。床に大胆に、ハート型の鏡の周りにペットボトルを配し、春らしい黄色の花を中心に生けたアイデアは好評でした。



お迎え花

★大ホールのオブジェは、メルヘンが感じられるかわいらしい家々が並んでいました。



いけばな

★生け花の部屋は、いけばな連盟各流派の作品が個性溢れていました。



段ボールで作った動物

★茶道連盟のお茶席の和菓子は食べてしまうのがもったいないような可愛いものでした。茶道具の説明も皆さんよく聞いておられました。

★特別展示「絆の旅」、公募作品の詩や作文は、文字を拡大してあったのが良かった。東日本大震災の支援を続けている方たちには頭が下がります。

★文化体験フェスタで美術家協会の指導で、小学生が段ボールで作った動物たちがユーモラスでした。

(会報 角川照江)

さやま・川の街合唱団 10周年記念コンサート開かれる

文団連会員で活動してきた合唱団、10周年を迎え記念コンサートが12月21日(土)入間川小学校多目的ホールであったので、聴いてきました。砂田先生の指揮で全15曲も歌い、舞台狭しと並ぶ40名以上のハーモニーは迫力があつた。客席から励ましの声も掛かり、10周年の重みと熱気が伝わって、素晴らしかった。吉田理事はじめ皆さんの今後に期待し、会場を後にしました。

(会報 高沢正夫)



さやま・川の街合唱団 10周年記念コンサート